今月の予定

8日（金）　お誕生祝膳
20日（水）　春分の日

梅のさと便り 3月号

No. 409 R6. 3. 1
梅光苑　文芸部

「節分」豆まきをご利用者と一緒に楽しみました

2月3日(土)節分の日、「鬼は外！」「福は内！」苑内に大きな声が響き渡りました。赤鬼、青鬼の聞き覚えのある声に、ご利用者も怖がることなく遠慮なく豆をまき、鬼を退治することができました。豆まきの後は、豆を食べ今年も無病息災を祈願しました。

「節分」とは、本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節日を指しているそうです。本格的な訪れはまだ先ですが、一歩づつ着実に近づいています。

周りでは、新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症も見受けられます。これからも体調には十分気を付けて生活したいです。

特別養護老人ホーム梅光苑

春……それは「別れ」の季節でもあります
四年間、大変お世話になりました

介護職員　アリバ　カマリア　ワルダナ

春と言えば「別れ」の季節といいます。梅光苑でも多くの「別れ」があります。

今回は、その中の一人、今春、インドネシアに帰国するアリバさん(24)に日本での一番の「思い出」と自国に帰ってからの大きな「夢」について語ってもらいました。

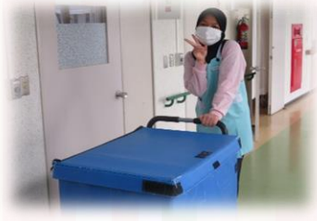
令和2年2月、4人の仲間とともに日本にやって来ました。人々はみな優しく、困った時は親身になって助けてくれました。とてもありがたかったです。一番の「思い出」は、昨年の8月、東京ディズニーランドに東京の友だちと遊びに行ったことです。ミッキーやミニーに会った時はとても感激しました。だって、インドネシアにはディズニーランドはないんですよ。多分、一生忘れないと思います。

インドネシアに帰ってからの、私の大きな「夢」は、パン屋さんを始めることです。チョコやフルーツジャム、チーズ、クリームなどをたっぷり使った「パン」や「ケーキ」を作って販売したいです。特に日本では定番の「メロンパン」は、インドネシアにはないので「一番の目玉」として売り出したいですね。

梅光苑の皆さん、そして地域の皆さん、大変長い間お世話になりました。ありがとうございました。

さようなら　Selamat jalan(スラマッ ジャラン)　またいつか会いましょう!　Kapan-kapan kita bisa bertemu lagi, ya!(カパンカパン キタ ビサ ブルトゥム ラギ, ヤ)

とびっきりの笑顔で話してくれたアリバさん。インドネシアに帰ってから益々のご活躍をお祈りしています。



かわばた邸　3月のイベント情報

毎週　水曜日10：00～12：00 百歳体操（元気いきいきひろば）
金曜日13：30～15：30 百歳体操（元気いきいきひろば）

9日(土) 13：30～15：30 **カフェかわばた**　参加費100円
二胡の演奏会　大門美知江　様　　みんなで素敵な音色を楽しみましょう。

11日(月) 13：30～15：30 **カフェかわばた**　参加費100円
おしゃべり会　みんなで盛り上がりましょう

20日(水) 13：00～16：00　囲碁の会

27日(水) 13：30～15：30　うたごえ喫茶　みんなで歌おう

※オカリナ演奏会は中止とさせていただきます。またの機会をお楽しみに。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては変更の可能性があります。
ご確認ください。

季節のお便り

梅光苑の梅も満開です

春らしい日差しが感じられるようになり、梅光苑デイサービスセンター前の梅の花も満開です。昭和50年の開苑当時に植えられたもので樹齢は40年以上。梅光苑の歴史とともに毎年花を咲かせてきました。

『　もうすぐ春です！！　春と聞くと・・・　』

デイサービス

　ご利用者に「春と聞くと何を思い浮かべますか。」と伺うと一番多い声が「桜」「梅の花」でした。
　デイサービスの玄関横と裏庭に梅の木がありますが、今は満開に咲いています。梅の実がなり今年も美味しい梅ジュースが出来るといいですね。
　梅光苑の桜並木は、綺麗ですが、年々暖冬の影響か桜の開花が早くなっていますね。ご利用者に伺うと「私たちの頃は、入学式の時期に満開になっていた気がする。」と話され「今は、卒業式の頃満開になっていたような」と話されています。
暖かい春が待ち遠しいですね。

グループホーム　陶ヶ岳

　春は季節の中で一番楽しみな季節です。春になると、草花が芽吹く、花が咲く、ぽかぽか陽気、いろいろな事が始まる、気分がわくわく…、そんな春ですが、最近ではそんな過ごしやすい春の季節が短くなったような気がします。
待ち遠しい春、今年の春は何がやってくるかな。

居宅介護支援事業所

　まだ寒い日もありますが、春と聞くだけで温かい気持ちになります。 梅の花が咲き、桜の花のつぼみが少しずつ膨らんできています。 道の隅に咲いている花や山の木々、カエルの鳴き声、 子供のころを思い出したりします。
　年齢を重ね、忙しい日々が少しだけ一段落した中で、小さな季節の変化にも気づくことができるようになった気がします。
　ご利用者の方とお話をしていると、春と聞くと花の開花を楽しみにしている方が多いです。 桜やチューリップなどの色鮮やかな花が咲きはじめ、 気持ちが明るくなります。 毎年この時期になると春が待ち遠しいねという会話が多くなリます。
　元気に春が迎えられるようこれからもお手伝いさせていただきたいと思いました。

グループホーム　希望の里

　春のイメージとして、日本人は「桜」と答える方が多いと思われますが、その前に椿や梅、桃といった春を知らせる花がまず咲き始めます。
　梅はほのかな香りを運んでくれますし、桃の鮮やかなピンク色は眼の保養をさせてくれます。これらの花を見ると「もうすぐ春だな」と感じられ心が躍ってきます。
　お花見学や暖かい風を感じられる様に希望の里では外出する機会を増やしていきたいと思っております。

梅の里　かわばた邸（地域連携室）

　春が近くなり、皆さんの気持ちもウキウキしてきました。「梅まつり」に行ったよというお声も聞きました。さあ活動の始まりですね。
　皆さんにとって楽しみは、様々な花の話題のようです。少しずつお持ちいただく花も増えてきました。
　椿・ネコヤナギ、水仙、ろうばい、サンシュユなどなどお話が弾むものばかりです。花と名前を一致させるのもしっかり頭の体操になります。
　椿や水仙は種類がたくさんあって、次々に皆さんのお庭から違った花が届きます。「株分けしてね」「挿し木してみるね」とお互いの花を増やしていく相談も。
　ここからまた、楽しい話題も広がります。
　花と共に、皆さんの笑顔も満開！！今月もますます盛り上がっていきましょう。